

令和5年度 経営改革プラン

団体名	阪神国際港湾株式会社	
設立年月日	平成26年10月1日	
団体の設立目的・沿革	国の国際コンテナ戦略港湾政策の一環として、阪神港の国際競争力の強化に向け、民の視点による効率的かつ一体的な港湾運営をさらに推進するために、神戸・大阪両埠頭会社を経営統合し、業務を開始。	
団体の主な事業内容	事業名	所管局
	埠頭施設の整備・管理運営	港湾局港湾計画課、経営課 ほか
	集貨・集客促進	港湾局物流戦略課
	海外港湾の運営への参画	自主事業
代表者	代表取締役社長 外園 賢治	

役職員数 (令和4年7月時点)	取締役		監査役		職員		合 計
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	有期	無期	
団体固有職員	-	-	-	-		69	69
神戸市派遣職員	-	1	-	-		9	10
神戸市OB職員	1	-	-	-	2		3
その他	3	4	-	2	6	8	23
合 計	4	5	-	2	8	86	105

財務状況（単位：百万円）	令和3年度	令和2年度	差引
経常損益	1,406	845	561
税引後当期純利益	971	582	389
販売費及び一般管理費	1,531	2,026	▲ 495
流動資産	12,775	15,495	▲ 2,720
流動負債	4,009	4,657	▲ 648
長期借入金（固定負債）	22,479	21,124	1,355
期末現金預金残高	7,393	11,100	▲ 3,707

■ 中長期的なミッション（神戸市行財政改革方針 2025 期間中のミッション）

ミッション①	中期経営計画の着実な実行
--------	--------------

■ 短期的なミッション（令和 5 年度のミッション）

ミッション①	港勢拡大や機能強化に向けた取り組みの推進
--------	----------------------

■ 経営指標（令和 3 年度）

経営指標				令和 2 年度	令和 3 年度	前年度比増減	令和 2 年度実績中小企業実態基本調査による業種別平均値
人的パフォーマンス	職員一人あたり純利益	純利益/職員数	職員 1 名あたりが、どの程度の利益を上げているか。(百万円)	6.191	10.120	3.9ポイント	1.438
	経常費用人件費比率	人件費/経常費用×100%	経常費用に占める人件費の割合がどの程度あるか。	7.58%	6.64%	▲0.9ポイント	20.12%
財政的パフォーマンス	総資本経常利益率	経常利益/総資本×100%	経常的な収益性はどの程度見込めるか。	2.34%	3.71%	1.4ポイント	1.44%
	流動資産回転率	売上高/流動資産×100%	流動的な資金が効率的に運用されているか。	79.95%	116.24%	36.3ポイント	69.54%
財政安定性	流動比率	流動資産/流動負債×100%	短期的な資金をどの程度確保できているか。	332.71%	318.68%	▲14.0ポイント	156.65%
	自己資本比率	自己資本/総資本×100%	団体固有の資本がどの程度あるか。	16.00%	18.08%	2.1ポイント	33.61%
持続性	自己資本当期純利益率 (ROE)	当期純利益/純資産×100%	資本を効率的に運用しているかか。	10.08%	14.18%	4.1ポイント	3.44%
	純資産増加率	(当期純資産-前期純資産) / 当期純資産×100%	純資産が持続的に増加しているか。	10.27%	15.73%	5.5ポイント	20.31%

■ ミッション工程表

ミッション名	令和5年度			令和6年度			令和7年度～					
中長期的ミッション												
中期経営計画の着実な実行	現中期経営計画の着実な実行						次期中期経営計画の着実な実行					
ミッション名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
短期的ミッション												
港勢拡大や機能強化に向けた取り組みの推進	利用者ニーズを的確に汲み取り、時宜に即応した施策を検討・実施											

■ ミッションを踏まえた団体目標

目 標 及 び 実 現 方 法	<p>目標 (できるだけ達成度を表す 数値目標も記載)</p> <p>※ 阪神港としての目標</p>	<p>① コンテナ取扱貨物量</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国内シェア 22%以上の維持・拡大</li> <li>・ 取扱貨物量 550万TEU以上</li> </ul> <p>② 国際基幹航路等の輸送力の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国際基幹航路 9万TEU以上/週</li> <li>・ 国際フィーダー 7千TEU以上/週</li> </ul> <p>③ 安定的な財務体質の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自己資本比率 10%以上確保</li> </ul> <p>④ 代表的な施設整備計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 神戸港コンテナターミナル (PI 2期) 機能強化</li> <li>・ CONPAS等テクノロジーの進化に対応した効率化施策の順次導入</li> </ul>
	① 集貨及び創貨施策のさらなる強化	
	・ 国際基幹航路の維持・拡大	
	・ 西日本諸港との港湾間ネットワーク強化	
	・ 新たなコンテナ貨物の創出	
	・ 基幹航路就航船の船型大型化を捉えての基幹航路の誘致	
	② 生産性・資本効率を伸ばすターミナルシステムの構築	
	・ コンテナターミナルの機能強化	
	・ 港湾におけるデジタルトランスフォーメーション (DX) を通した更なる生産性の向上	
	・ 災害をはじめとしたあらゆるリスクに強いターミナル運営	
・ 物流効率化につながるフェリー・ライナー機能の強化・維持		
・ カーボンニュートラルポート (CNP) 形成に向けた取り組み		
③ 機動的かつ安定的な経営の実現		
・ 経営基盤の強化		
・ 人材育成と組織づくり、コンプライアンスの徹底		
・ 経験・技術を活かした海外事業展開		
・ 社内におけるDXの推進		

■市支援策の活用状況（令和4年度）

外郭団体共通内部通報窓口

経営懇談会

外郭団体職員向け研修

民間代替性調査

専門家紹介制度

経営診断

企業統治状況調査